

■ 外付オプション：小型電力伝送タイプ

樹脂コネクタタイプ
ハンダ端子増設可能

マスターシリンダ
model SWLZ0K0-M

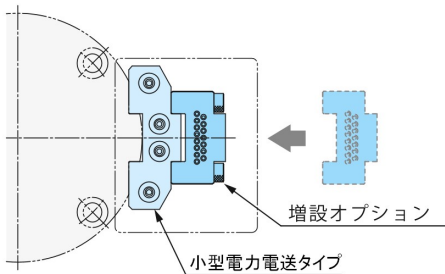
ツールアダプタ
model SWLZ0K0-T

● 仕様

定格 (コンタクト1本あたり)	AC/DC 200V 5A
総電流容量	12A
電極数 (電極1個あたり)	4本
質量※1	マスターシリンダ側 電極部 17g
	ツールアダプタ側 電極部 13g
適合ターミナル付ケーブル (別売り)	SWZ0K0-CL□ -CL1時: 1m、61g -CL2時: 2m、126g

※1. 電極1台当たりの質量を示します。

● 増設可能オプション 本オプションにはオプション電極を増設することができます。



増設可能なオプション電極	増設可能型式				
	KWRY 0010	KWR 0070	KWR 0120	KWR 0250	KWR 0500
SWRZ0J0-□: 樹脂コネクタタイプ	増設 不可	●	●	●	●
SWLZ0C0-□01/02: ハンダ端子ケーブル付	●	●	●	●	●

増設時の詳細寸法については別途お問い合わせください。

● 適合ケーブルについて

適合ターミナル付ケーブルおよび、適合ターミナルは付属されません。

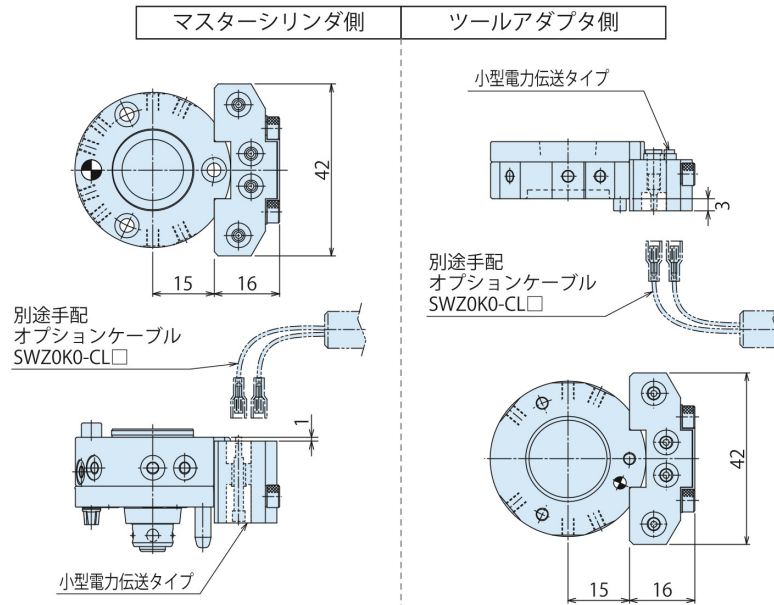
適合ターミナル付ケーブル SWZ0K0-CL□を手配ください。もしくは、適合ターミナルを参考の上、客先殿にて製作ください。

● 外形寸法 (KWR0070/KWR0120/KWR0250/KWR0500)

マスターシリンダ側				ツールアダプタ側			
部品形式	符号	品名	数量	部品形式	符号	品名	数量
SWLZ0K-M	①	電極 (マスター側)	1	SWLZ0K-T	⑤	電極 (ツール側)	1
	②	平行ピン φ1.5×4B種 (SUS)	2		②	平行ピン φ1.5×4B種 (SUS)	2
	③	ボルトカバー	1		③	ボルトカバー	1
	④	六角穴付ボルト M3×0.5×16(SUS)	2		④	六角穴付ボルト M3×0.5×16(SUS)	2

- 注意事項
1. マスタ側電極ブローはKWR接続時に※3の1.5mmストロークを行います。ケーブル固定の際は、ブローがストローク分動作できるように余裕を持ってケーブルの固定を行ってください。
 2. KWRリフト量に対し、電極の接続ストローク量が1.5mmを有するため、リリース時も電極は接続状態になります。
 - ※3. オプションケーブル およびターミナル端子は電極に含まれません。必要数を別途手配してください。

● 外形寸法 (KWRY0010)



部品形式	符号	品名	数量
SWLZ0K-M	①	電極 (マスター側)	1
	②	平行ピン φ1.5×4 B種 (SUS)	2
	③	ボルトカバー	1
	④	六角穴付ボルト M3×0.5×16(SUS)	2

部品形式	符号	品名	数量
SWLZ0K-T	⑤	電極 (ツール側)	1
	②	平行ピン φ1.5×4 B種 (SUS)	2
	③	ボルトカバー	1
	④	六角穴付ボルト M3×0.5×16(SUS)	2

- 注意事項
1. マスタ側電極ブローブはKWR接続時に※3の1.5mmストロークを行います。ケーブル固定の際は、ブローブがストローク分動作できるように余裕を持ってケーブルの固定を行ってください。
 2. KWRリフト量に対し、電極の接続ストローク量が1.5mmを有するため、リリース時も電極は接続状態になります。
 - ※3. オプションケーブル およびターミナル端子は電極に含まれません。必要数を別途手配してください。

● 外付オプション：小型電力伝送タイプ用適合ターミナル付ケーブル

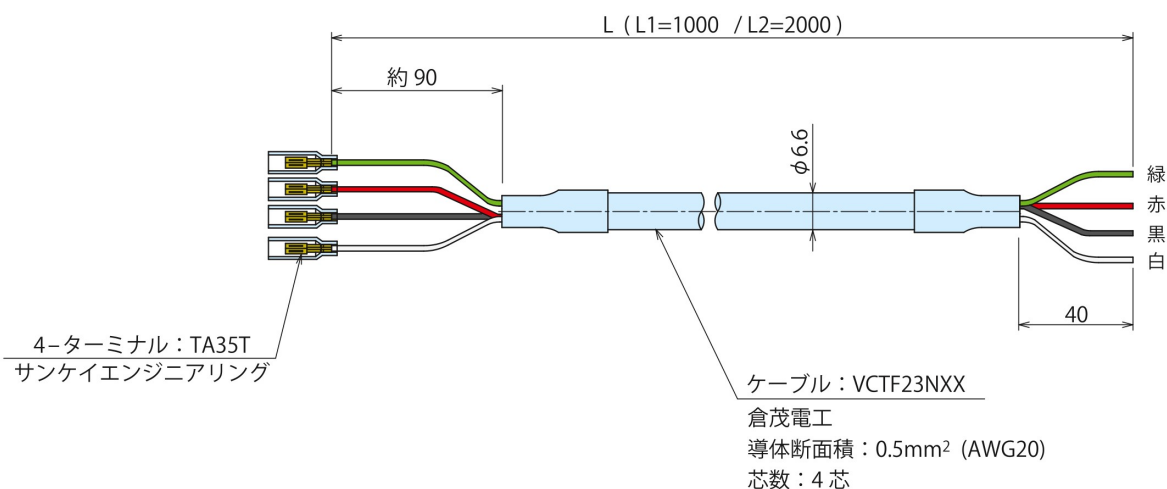
本ケーブルは小型電力伝送タイプ電極に適合するオプションケーブルです。

形式表示

SWZ0K0-C

L1
L2

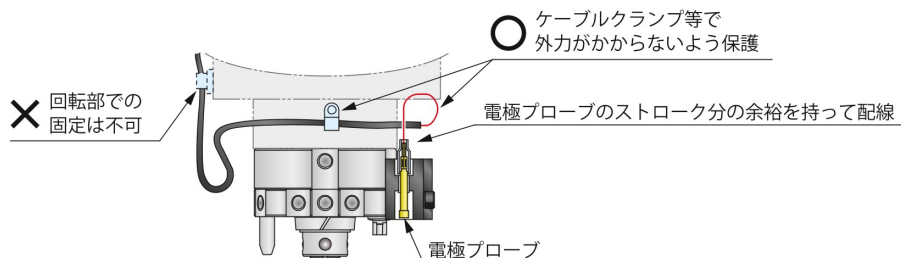
ケーブル長さ	質量
L1 : 1m	L1 : 61g
L2 : 2m	L2 : 126g



※本図を参考に客先殿にてケーブルを製作する場合、適合ターミナル (TA35T) を圧着する際の圧着工具は別途必要となります。

【注意事項】電線・ケーブルの処置および配線時の注意

- ロボットの移動・回転時に電線・ケーブルが引張られないように配線し、接続部へ外力がかからないように固定してください。接続部へ外力がかかると断線やコネクタ抜け、接触不良を起こすことがあります。ただし、マスタ側電極プローブはKWR 接続時に 1.5mm ストロークを行います。ケーブル固定の際は、プローブがストローク分動作できるよう余裕を持ってケーブルの固定を行ってください。



- 小型電力伝送タイプは、マスターシリンダ、ツールアダプタ共に電極プローブが交換可能です。電極プローブをケーブル接続側から一定以上の力で押すと抜ける構造になっています。ケーブル接続後は、着座面側よりプローブを押し込んでからご使用ください。